

所長だより第65号 令和2年6月23日

# 希望の船

We love BIWAKO

「みずうみに学んで世界の明日をひらく人」

滋賀県立びわ湖フローティングスクール  
〒520-0047 大津市浜大津5丁目1番7号  
<https://uminoko.jp/>

## 9月から1日航海スタート予定

【所長 東 文三】



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、4月スタートの予定を変更して、6月1日から1泊2日の航海を実施しようと考えていました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大が収束する気配がみられず、これも厳しくなり、結局9月から全ての航海を1日航海で実施することとなりました。昭和58年から始まったびわ湖フローティングスクール、全ての1泊2日の航海がなくなったことは初めてで、大変残念なことです。楽しみにしていた

子どもたち、保護者の皆様には大変申し訳なく思います。

9月スタートのため、再度日程調整を行い、年間乗船計画ができました。これに沿って、令和2年度のびわ湖フローティングスクールを実施し、子どもたちが琵琶湖に触れ、びわ湖学習を体験して、「みずうみに学んで世界の明日をひらく人」になってもらいたいと思います。

新型コロナウイルス感染拡大防止のためには、次の3つに取り組みます。

1つは、安全のための対策です。乗船に際しては、健康観察や手洗い、手指消毒、マスク着用、使用物品や使用箇所の消毒等はもちろんしますが、3つの密「密閉・密集・密接」を避けるための対策をします。「密閉」を避けるために「うみのこ」の甲板への出入り口の開放や空調設備等の改善により、これまで以上に換気ができるようにします。また、「密集・密接」を避けるために、一同に集まって行う開校式、閉校式は実施せず、びわ湖学習やまとめの学習、振り返りも同室では行いません。食事も、8人掛けテーブルに4人座ることを原則にして、2つのグループに分けて行います。テーブルには、飛沫を防ぐためのアクリル板を設置します。バスにおいては、密を避けて乗車できるようにバス配車台数を変更したいと考えています。

もう1つは、出前授業の実施です。1日の日帰り航海になり、子どもたちの活動が少なくなってしまうので、そこで、航海がない8月までの間、フローティングスクールの所員が学校に赴き、びわ湖学習などを体験できるようにしました。プランクトン観察、透視度調査、ヨシの活用など9つのメニューから学校が選ぶことができます。メニューの1つに、カッター活動もあり、4回実施する予定です。全部で約40校において実施する予定で、予想以上に人気があります。

さらに、サテライト学習の配信です。休校期間中、インターネットを通じて配信したびわ湖学習などの手作り動画を、子どもたちが視聴できるようにしました。びわ湖の深呼吸、溶存酸素量測定、ロープワークなど10のメニューを用意しました。学校を再開してからも、フローティングスクール学習の予習や復習、学校での事前、事後学習にも活用できます。フローティングスクールのホームページから見てもらうことができますので、是非視聴、活用してください。



新型コロナウイルス感染症は、現在も予断を許さない状況にあります。今は、9月に無事スタートができるように祈りつつ、安全で充実したフローティングスクールのために万全を期すように全力を尽くしてまいります。今後とも、ご支援ご協力をよろしく申し上げます。